

# 通所入浴サービス事業の地域開放

地域の生活の質の向上に向けた取り組みとして、施設の入浴機能を地域の在宅高齢者に提供し、地域ニーズに応える活動を実施している。毎週水・土曜日の週2回を入浴日とし、費用は1回につき100円で行っている。利用者からは好評を得ており、利用者数も1.5倍に増加している。

社会福祉法人 **一幸会**

〒997-0826 山形県鶴岡市美原町4-40  
TEL：0235-25-2881 / FAX：0235-25-2882

## 【法人の概要】

法人設立年：平成2年4月  
経営施設、事業（数）：1施設 6事業  
経営施設、事業（種別）：  
介護老人福祉施設…1 / ショートステイ…  
1 / デイサービスセンター…1 / ホームヘル  
パーセンター…1 / 居宅介護支援センター…  
1 / 在宅介護支援センター…1 / 小規模多機  
能型居宅介護事業所…1

## 【法人の理念・経営方針】

(理念)  
高齢者が自分らしい生活を安心して暮らせる介護サービス「住み続けたい生活のために」  
高齢者が自分らしく生活するために、思いやりに溢れた温かい心で、必要な支えを必要な時に提供し、安心される介護を目指します。  
(経営方針)  
1. 高齢者の生活向上の事業経営  
2. 地域社会に関わる事業経営  
3. 人を育てる事業経営

## 実施施設の概要

施設名：健康園  
施設種別：デイサービスセンター（定員35名）  
活動開始年：平成17年2月  
活動の頻度・時間：週2（回）、1回あたり1（時間）  
活動の対象者：地域の在宅高齢者（身体障害者及び知的障害者を含む）

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

施設が市街地にあり、周囲にあった公衆浴場も閉鎖されており、在宅の高齢者の方より、浴場が遠方であり不便であるというような声が民生委員を通して聞こえるようになった。

また入浴が困難な方に対して、施設の入浴機能を提供し、住み慣れた地域社会の中で、引き続き生活していく事が出来るように支援することを目指した。

## 実施内容

サービスの利用定員は30名とし、男女別の時間を区分し45分間の入浴時間とした場合は定員を10名以内とする。

入浴日、毎週水曜日・土曜日を原則とした。施設の行事等により、その曜日に実施出来ない場合は変更することと、また入浴出来ない場合もあるものとし、入浴出来ない時は事前に連絡する。

水曜日 男性13：30～15：00 女性15：30～17：00

土曜日 男性15：30～17：00 女性13：30～15：00

利用者は民生委員からの利用推薦がある方のみとした。それは地域福祉社会の充実と発展を支援することとしているためである。

また、利用者は自力で入浴可能な方としている。

サービス提供の利用額は1回につき100円とし、利用者より現金で支払いを受ける。

実施地域は市内の第1学区・第4学区社会福祉協議会の地域としている。

(施設の近隣地域)

利用者はサービスの利用に当たって、施設内の設備・器具は本来の用途に従い利用出来るものとしている。

## 活動効果

### ・施設利用者

利用者は定期的に利用し、費用も低額でありがたいと貴ばれている。

互いに仲間意識を持ち楽しそうに談話し利用している。

また、それらの方々より、デイサービスへの利用者として利用する方も出ている。

なお、利用者は前年度より1.5倍に増加している。

### 平成18年度の利用人数

月	実施日数	登録者数	実利用者数	述べ人数	一日利用者数
4	9	20	12	58	6.4
5	9	20	11	70	7.8
6	8	20	11	57	7.1
7	9	20	11	65	7.2
8	9	19	12	59	6.6
9	9	19	11	65	7.2
10	8	19	11	57	7.1
11	9	19	10	60	6.6
12	9	20	11	54	6.0
1	9	20	10	59	6.5
2	8	21	10	58	7.2
3	9	21	11	49	5.4
計	105	238	131	711	6.7
前年度	104	200	112	459	4.4

## 主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主 な 経 費>	<概算額>
光熱水費	¥322,360
事務消耗品費	¥1,600
<合 計>	¥323,960

<主 な 財 源>	<概算額>
利用者負担額	¥71,100
施設負担額	¥252,860
<合 計>	¥323,960



## 今後の課題

### 1 家族の付添入浴

利用者は自力入浴可能な方としているが、家族が付き添いしながら入浴させることについて、現在希望はないが、あった場合にどうするかは課題としてとらえている。

### 2 遠方利用者の送迎

当施設保有の車輛に余裕がないため、現在は考えていないが、あった場合どうするかが課題である。